

時間と陰陽道

かつての日本では占い師を「陰陽師」とよび、彼らの術法は陰陽道とよばれました。一方で古代以来、陰陽師は暦を作り、漏刻(=水時計)で時刻を管理しました。暦も漏刻も中国から朝鮮半島などを経て入ってきますが、陰陽師が日付や時刻を使って吉凶を占うことで、日本人は時間を意識するようになったとも言えます。このシンポジウムでは陰陽道がどのように日本人の時間意識に影響を与えたのかを明らかにしたいと思います。

2025.6/14 SAT

参加無料

事前申込不要

[時間] 14:00—17:10(開場13:30)

[会場] 活水女子大学東山手キャンパス411教室(長崎市東山手1-50)

路面電車/JR長崎駅から[1]系乗車「新地中華街」で[5]系に乗り換え「メディカルセンター」下車(所要時間約15分、徒歩5分)
バス/JR長崎駅南口バス停から長崎バス[10][17][30]系、または東口から長崎バス[40][60]系に乗車「メディカルセンター」下車(所要時間約15分、徒歩4分)

コーディネーター | 細井浩志(活水女子大学・教授/時間学研究所・客員教授)

講演

- 細井浩志(活水女子大学国際文化学部・教授)
「はじめに—陰陽道研究と時間学との関係」
- 赤澤春彦(摂南大学国際学部・教授)
「古代中世の占いと時刻」
- 梅田千尋(京都女子大学文学部・教授)
「江戸時代の暦と陰陽師—年卦の配布と受容から」
- 小池淳一(国立歴史民俗博物館・教授)
「トシガミから歳徳神へ—正月行事をめぐって—」
- 林 淳(東洋大学・客員研究員)
「コメント—陰陽道と日本人の時間意識」

パネルディスカッション

[参加対象] 市民一般および研究者

[定員] 300名

[主催] 山口大学時間学研究所

[共催] 日本時間学会、活水女子大学

[後援] 長崎市教育委員会

[お問合せ] 山口大学時間学研究所 tel 083-933-5848

E-mail▶jikann@yamaguchi-u.ac.jp HP▶http://www.rits.yamaguchi-u.ac.jp

